

令和2年4月

日本航空宇宙学会会員の皆様へ

論文集編集委員会委員長 寺本 進

航空宇宙技術の業者組版移行ならびに掲載料の改定について

これまで航空宇宙技術は、著者御自身での掲載用指定様式による原稿組版をお願いしていましたが、日本航空宇宙学会論文集のオンライン移行を機に、著者の負担軽減とジャーナルとしての体裁の統一を目指して印刷業者による組版に移行することとなりました。

同時に、原稿種別や掲載料もオンライン化後の日本航空宇宙学会論文集に合わせて下記のとおり変更致します。

- ・「論文」「研究開発報告」の最大頁数を10頁から15頁に拡大する
- ・「研究ノート」を「技術ノート」に改め、最大頁数を4頁とする
- ・掲載料を1頁10,000円（消費税込み）（筆頭著者が非会員の場合、12,000円+1頁10,000円（消費税込み））に変更。

新しい原稿種別および掲載料金は2020年(令和2年)6月6日以降投稿にいただく論文から適用し、既にご投稿頂いた論文の掲載料については、掲載時に著者組版（従来の掲載料）と業者組版（新掲載料）からお選び頂くことができます。従来の掲載料と比較すると組版費用の分が加算された形となりますが、ご理解下さい。

今後とも、当学会の論文集へのご投稿をお願い申し上げます。